



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（西浜武線）改修工事

積 算 書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

[illegible]

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業

工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事

工事別工事名: 令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			6,490,000	
・工事原価			5,747,000	
・・製作工事原価			3,665,000	
純製作費			3,645,000	
・・・直接製作費	1.000	式	3,619,000	
・・・間接製作費			46,000	
・・・・間接労務費			26,000	
・・・・工場管理費			20,000	
・・据付工事原価			1,884,000	
純工事費			1,126,000	
・・・直接工事費	1.000	式	940,000	
・・・間接工事費			944,000	
・・・・共通仮設費			186,000	
・・・・・運搬費～営繕費等				
$940,000 \times ((19.810 \times 1.000) \times 1.000)$			186,000	
・・・・現場管理費				
$1,126,000 \times ((21.890 \times 1.000) \times 1.000 + 0.000)$			246,000	
・・・・据付間接費			512,000	
・・設計技術費				
$5,549,000 \times 3.570$			198,000	
・一般管理費等				
$5,747,000 \times (13.040 \times 1.000 + 0.04)$			751,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
機器単体費			3,550,000	
処分費等（直接工事費の内数）			0	
処分費（準備費の内数）			0	
処分費（事業損失防止施設費内数）			0	
処分費等（率対象外）			0	
共通仮設費算定控除額			0	
法定福利費概算額（工事価格の内数）				
$1,884,000 \times 1.490$			28,000	

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名: 令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S16002	電気溶接機[ディーズエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次]					
	電気溶接機[ディーズエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] ,最大溶接電流200A,運転1日当たり算出,機械損料+燃料,軽油,交替制補正対象外		日	4,266		歩A・単A
	*** S単－ 2号 ***					
S16004	トラックレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型]					
	トラックレーン[油圧伸縮ｼﾌﾞ型] トラックレーン(油圧伸縮ｼﾌﾞ型),最大吊上能力4.9t吊,なし		日	47,500		歩A・単A
	*** S単－ 3号 ***					
S40001	一般構造用角形鋼管 一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×3.2mm,鋼管,㏪°-H 1, 10		kg	195		歩A・単A
	*** S単－ 4号 ***					
S40001	一般構造用角形鋼管 一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×2.3mm,鋼管,㏪°-H 1, 10		kg	189		歩A・単A
	*** S単－ 5号 ***					
S40001	一般構造用平鋼 一般構造用平鋼 SS400 6mm×32～44mm,形鋼、平鋼,㏪°-H 1, 10		kg	138		歩A・単A
	*** S単－ 6号 ***					
S40001	一般構造用平鋼 一般構造用平鋼 SS400 6mm×50～75mm,形鋼、平鋼,㏪°-H 1, 10		kg	136		歩A・単A
	*** S単－ 7号 ***					
S40001	一般構造用圧延鋼板（厚板） 一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ6.0mm 1500≦W≦2000,鋼板、ステンスラット鋼板,㏪°-H 1, 12		kg	196		歩A・単A
	*** S単－ 8号 ***					
S40006	ワイヤスプリング式開度計 ワイヤスプリング式開度計 R1100相当		台	3,040,000		歩A・単A
	*** S単－ 9号 ***					
S40006	転向シーブ 転向シーブ MCナイロン、φ75型		組	60,000		歩A・単A
	*** S単－ 10号 ***					
S40006	開度計架台（ワイヤガイド付） 開度計架台（ワイヤガイド付） SUS304、アンカー含む		台	260,000		歩A・単A
	*** S単－ 11号 ***					
S40006	LED防犯灯（FHT42形相当） LED防犯灯（FHT42形相当） AC100V（人感センサー、装柱金具付）		式	130,000		歩A・単A
	*** S単－ 12号 ***					
S40013	ステンレスボルト・ナット ステンレスボルト・ナット M16x150L、HP-16他 SUS304		kg	2,100		歩A・単A
	*** S単－ 13号 ***					
S40041	溶融亜鉛メッキ 溶融亜鉛メッキ ,溶融亜鉛メッキ		kg	300		歩A・単A
	*** S単－ 14号 ***					
S41001	[施設機械労務単価] [施設機械労務単価] 水門、ﾀﾞﾑ水門、除塵機、鋼製付属設備,据 付 工,		人	31,600		歩A・単A
	*** S単－ 15号 ***					
S41001	[施設機械労務単価] [施設機械労務単価] 水門、ﾀﾞﾑ水門、除塵機、鋼製付属設備,普通作業員,		人	24,100		歩A・単A
	*** S単－ 16号 ***					
S41001	[施設機械労務単価] [施設機械労務単価] 水門、ﾀﾞﾑ水門、除塵機、鋼製付属設備,電 工,		人	28,900		歩A・単A
	*** S単－ 17号 ***					
S41002	輸送費 輸送費 鋼製付属設備,0.2[各単位],350km,,,,,,,,		式	103,000		歩A・単A
	*** X単－ 1号 ***					
X40001	補助材料費(製作) 補助材料費(製作) 鋼製付属設備,13%,		式	798		歩A・単A
	*** X単－ 2号 ***					
X40003	鋼製付属製作 鋼製付属設備製作工 防護柵,0.1≦x≦5.0,0.00,0.00,1基,1.00,,34.3		基	42,510		歩A・単A
	*** X単－ 3号 ***					
X40014	間接労務費 間接労務費 鋼製付属設備,60%,		式	25,506		歩A・単A
	*** X単－ 4号 ***					
X40015	工場管理費					

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S16002	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] 電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] ,最大溶接電流200A,運転1日当たり算出,機械損料+燃料,軽油,交 替制補正対象外		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	1)機械コード<<単位が日のみ>> 2)機械損料算出区分 3)運転1日当たり運転時間(T) 4)運転日に対する供用日の割合(YC) 5)単価計上区分 6)燃料区分 7)燃料の計上方法 8)燃料消費量(入力の場合) 9)交替制補正区分	M27432 運転1日当たり算出 7.0 1.80 機械損料+燃料 軽油 機械経費算定基準値による 0.0 交替制補正対象外		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
M27432	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] 最大溶接電流200A	1.800	供用日	1,010	1,818	
P34029	軽油 バトロ-給油	16.000	L	153	2,448	
	合 計				4,266	算出数量 1,000 各単位
	単 価		各単位		4,266	
Y00001	単位					
	*** S単一 2号 ***					
S16004	トラックレン[油圧伸縮ジブ型] トラックレン[油圧伸縮ジブ型] トラックレン(油圧伸縮ジブ型),最大吊上能力4.9t吊,なし		日		1,000 日	歩A 当たり算出
	1)機械区分 2)規格 3)運転1日当たり運転時間(T) 4)運転日に対する供用日の割合(YC) 5)長期割引単価区分(賃料機械)	トラックレン(油圧伸縮ジブ型) 最大吊上能力4.9t吊 0.0 0.00 なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
F01021	トラックレン[油圧伸縮ジブ型] 最大吊上能力4.9t吊	1.000	日	47,500	47,500	
	合 計				47,500	算出数量 1,000 日
	単 価		日		47,500	
	*** S単一 3号 ***					
S40001	一般構造用角形鋼管 一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×3.2mm,鋼管,㏒-H 1,10		kg		1,000 kg	歩A 当たり算出
	1)材料(鋼材)コード 2)材料規格 3)材料名 4)スクラップの該当品目 5)材料割増率(%)	K13029 STKR400 50mm×50mm×3.2mm 鋼管 ㏒-H 1 10.000		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K13029	一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×3.2mm	1.000	kg	195	195	
	合 計				195	算出数量 1,000 kg
	単 価		kg		195	
K16141	スクラップ ヘビー-H 1	1.000	kg	42.50	43	
	*** S単一 4号 ***					
S40001	一般構造用角形鋼管 一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×2.3mm,鋼管,㏒-H 1,10		kg		1,000 kg	歩A 当たり算出
	1)材料(鋼材)コード 2)材料規格 3)材料名 4)スクラップの該当品目 5)材料割増率(%)	K13028 STKR400 50mm×50mm×2.3mm 鋼管 ㏒-H 1 10.000		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K13028	一般構造用角形鋼管 STKR400 50mm×50mm×2.3mm	1.000	kg	189	189	

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				189	算出数量 1.000 kg
	単 価		kg		189	
K16141	スクラップ ヘビーH 1	1.000	kg	42.50	43	
	*** S単ー 5号 ***					
S40001	一般構造用平鋼		kg		1.000	歩A 当たり算出
	一般構造用平鋼 SS400 6mm×32～44mm,形鋼、平鋼,㈬-H 1 ,10			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)材料(鋼材)コード	K01322		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)材料規格	SS400 6mm×32～44mm		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)材料名	形鋼、平鋼		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)スクラップの該当品目	㈬-H 1				
	5)材料割増率(%)	10.000				
K01322	一般構造用平鋼 SS400 6mm×32～44mm	1.000	kg	138	138	
	合 計				138	算出数量 1.000 kg
	単 価		kg		138	
K16141	スクラップ ヘビーH 1	1.000	kg	42.50	43	
	*** S単ー 6号 ***					
S40001	一般構造用平鋼		kg		1.000	歩A 当たり算出
	一般構造用平鋼 SS400 6mm×50～75mm,形鋼、平鋼,㈬-H 1 ,10			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)材料(鋼材)コード	K01323		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)材料規格	SS400 6mm×50～75mm		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)材料名	形鋼、平鋼		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)スクラップの該当品目	㈬-H 1				
	5)材料割増率(%)	10.000				
K01323	一般構造用平鋼 SS400 6mm×50～75mm	1.000	kg	136	136	
	合 計				136	算出数量 1.000 kg
	単 価		kg		136	
K16141	スクラップ ヘビーH 1	1.000	kg	42.50	43	
	*** S単ー 7号 ***					
S40001	一般構造用圧延鋼板（厚板）		kg		1.000	歩A 当たり算出
	一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ6.0mm 1500≦W≦2000,鋼板、ステンスクラット鋼板,㈬-H 1 ,12			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)材料(鋼材)コード	K01071		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	2)材料規格	SS400 厚さ6.0mm 1500≦W≦2000				
	3)材料名	鋼板、ステンスクラット鋼板				
	4)スクラップの該当品目	㈬-H 1				
	5)材料割増率(%)	12.000				
K01071	一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ6.0mm 1500≦W≦2000	1.000	kg	196	196	
	合 計				196	算出数量 1.000 kg
	単 価		kg		196	
K16141	スクラップ ヘビーH 1	1.000	kg	42.50	43	
	*** S単ー 8号 ***					
S40006	ワイヤスプリング式開度計		台		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	ワイヤスプリング式開度計 R1100相当			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データ	K96001		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格	R1100相当		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名: 令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K96001	ワイヤスプリング式開度計 R1100相当	1.000	台	3,040,000	3,040,000	
	合 計				3,040,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				3,040,000	
	*** S単一 9号 ***					
S40006	転向シーブ		組		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	転向シーブ MCナイロン、φ75型			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データ 2)規格	K96002 MCナイロン、φ75型		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K96002	転向シーブ MCナイロン、φ75型	1.000	組	60,000	60,000	
	合 計				60,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				60,000	
	*** S単一 10号 ***					
S40006	開度計架台（ワイヤガイド付）		台		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	開度計架台（ワイヤガイド付） SUS304、アンカー含む			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データ 2)規格	K96003 SUS304、アンカー含む		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K96003	開度計架台（ワイヤガイド付） SUS304、アンカー含む	1.000	台	260,000	260,000	
	合 計				260,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				260,000	
	*** S単一 11号 ***					
S40006	LED防犯灯（FHT42形相当）		式		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	LED防犯灯（FHT42形相当） AC100V（人感センサー、装柱金具付）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データ 2)規格	K96009 AC100V（人感センサー、装柱金具付）		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K96009	LED防犯灯（FHT42形相当） AC100V（人感センサー、装柱金具付）	1.000	式	130,000	130,000	
	合 計				130,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				130,000	
	*** S単一 12号 ***					
S40013	ステンレスボルト・ナット		kg		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	ステンレスボルト・ナット M16x150L、HP-16他 SUS304			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データ 2)規格	K35021 M16x150L、HP-16他 SUS304		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K35021	ステンレスボルト・ナット SUS304	1.000	kg	2,100	2,100	
	合 計				2,100	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,100	
	*** S単一 13号 ***					
S40041	溶融亜鉛メッキ		kg		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	溶融亜鉛メッキ 、溶融亜鉛メッキ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1)施工内容	溶融亜鉛メッキ		豪雪補正:なし	垂熱帯補正:なし	
	2)溶融亜鉛メッキ規格	K78621kg		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)酸洗い規格	K78021m ²		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K78621	溶融亜鉛メッキ					
	溶融亜鉛メッキ	1.000	kg	300	300	
	合 計				300	算出数量 1.000 各単位
	単 価				300	
	*** S単一 14号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工、			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)工種区分	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備		豪雪補正:なし	垂熱帯補正:なし	
	2)労務者区分	据 付 工		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の補助文			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R03002	据 付 工					
		1.000	人	31,600	31,600	
	合 計				31,600	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価				31,600	
	*** S単一 15号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、普通作業員、			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)工種区分	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備		豪雪補正:なし	垂熱帯補正:なし	
	2)労務者区分	普通作業員		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の補助文			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R01003	普通作業員					
		1.000	人	24,100	24,100	
	合 計				24,100	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価				24,100	
	*** S単一 16号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、電 工、			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)工種区分	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備		豪雪補正:なし	垂熱帯補正:なし	
	2)労務者区分	電 工		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の補助文			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R01013	電 工					
		1.000	人	28,900	28,900	
	合 計				28,900	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価				28,900	
	*** S単一 17号 ***					
S41002	輸送費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	輸送費			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	鋼製付属設備,0.2[各単位],350km,,,,,,			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)工種区分	鋼製付属設備		豪雪補正:なし	垂熱帯補正:なし	
	2)対象要素 (X) の数量	0.200[各単位]		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)想定輸送距離 (D) の数量	350.000km		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K79213	輸送費					
		1.000	式	103,000	103,000	
	合 計				103,000	算出数量 1.000 式
	単 価				103,000	

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業						
工事名 排水路設備（西浜武線）改修工事						
工事別工事名: 令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単一 1号 ***					
X40001	補助材料費(製作)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	補助材料費(製作) 鋼製付属設備,13%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	鋼製付属設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)製作補助材料費率(Y)	13.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)主要部材費金額小計(円)	6,138.000円				
	5)副部材費金額小計(円)	0.000円				
K79351	製作補助材料費	0.130	式	6,138	798	
	合 計				798	算出数量 1.000 式
	単 価		式		798	
	*** X単一 2号 ***					
X40003	鋼製付属製作		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	鋼製付属設備製作工 防護柵,0.1≦x≦5.0,0.00,0.00,1基,1.00,,34.3			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設備区分	防護柵		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)適用範囲(ton/基)	0.1≦x≦5.0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の製作工数(人／t o n)	0.00		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)部材の混合比率	0.00				
	5)製作基数	1 基				
	6)製作数による補正係数(Kn)	1.00				
	7)鋼製付属設備名称					
	8)製作対象質量(kg/基)	34.300				
R03001	製作工	1.300	人	32,700	42,510	
	合 計				42,510	算出数量 1.000 基
	単 価		基		42,510	
	*** X単一 3号 ***					
X40014	間接労務費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	間接労務費 鋼製付属設備,60%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	鋼製付属設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)間接労務費率(Y)	60.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)製作工金額小計(円)	42,510.000円				
K79311	間接労務費	0.600	式	42,510	25,506	
	合 計				25,506	算出数量 1.000 式
	単 価				25,506	
	*** X単一 4号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費 鋼製付属設備,25%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	鋼製付属設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)工場管理費率(Y)	25.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)工場管理費対象金額小計 (円)	68,016.000円				
K79331	工場管理費	0.250	式	68,016	17,004	
	合 計				17,004	算出数量 1.000 式
	単 価		式		17,004	
	*** X単一 5号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費 鋼製付属設備,25%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	鋼製付属設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)工場管理費率(Y)	25.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

[illegible]

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

九州農政局

工事別工事名:令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事

[illegible]

令和 7 年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（西浜武線）改修工事

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和7年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書（施）」という。）及び九州農政局農村振興部制定「九州農政局施設機械工事共通事項書」（[URL:https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/doboku/doboku.html](https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/doboku/doboku.html)）に基づいて実施する。

同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、国営筑後川下流福岡土地改良事業計画に基づき、西浜武線の転倒ゲート設備（開度計他）の設置を行うものである。

2. 工事場所

福岡県柳川市三橋町枝光地内

3. 工事概要

（1）制水門整備

- | | |
|---------------|------|
| 1）西浜武線（枝光制水門） | 1 か所 |
| ・開度計設置 | |
| ・防護柵設置 | |
| ・照明設備設置 | |

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のほか、第8章設計、第9章構造及び製作に示すとおりである。

5. 施工範囲

本工事の施工範囲は、第2章3. 工事概要に示す設備の整備・調整である。

第3章 施工条件

1. 工程制限

制水門の現場整備（開閉操作等）は、令和8年11月1日から着手可能である。

なお、事前に発注者・施設管理者と工程を調整しなければならない。

2. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日は次のとおりとする。

- （1）工場製作の工事期間には、休日等4週8休を見込んでいる。
- （2）現場整備の工事期間には雨天、休日等4日を見込んでいる。
（なお、休日等は土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇である。）

3. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 現場技術員

本工事は、共通仕様書（施）第1章 1-1-12に規定している現場技術員を配置する。氏名等については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 搬入路

現場への搬入路は、4 t 車の進入が可能である。

2. 第三者に対する措置

(1) 騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(2) 安全対策

工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

(3) 交通対策

- 1) 交通規制の実施に際しては、道路利用者及び周辺住民に十分な周知を図らなければならない。
- 2) 一般道からの進入に当たっては、一般車両の通行に支障がないよう進入しなければならない。
- 3) 民家近くの通行に際しては、騒音、振動に注意し通行するものとする。

(4) 営農対策

工事施工に当たっては、周辺の農地では耕作が行われているので、営農に支障がないように努めなければならない。

(5) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

第5章 提出図書等

1. 承諾図書

共通仕様書（施）第1章 1-1-7に示す実施仕様書・計算書及び詳細図の提出は工事の始期から30日以内に提出するものとする。

また、承諾・不承諾は提出があった日から10日以内に文書で通知するものとする。

2. 施工図

受注者は、施工図が第三者の有する著作権を侵害し、発注者が著作権法に従い第三者に損害の回復等の処置を講じなければならないときは、発注者にかわり、その損害を負担し、又は回復等の処置を講ずるものとする。

第6章 仮 設

1. 工事用電力

工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

第7章 試運転調整

本工事で実施する試運転調整に要する電力料金（基本料金・使用料金）又は、燃料費については発注者において負担する。

なお、試運転調整の実施に当たっては、事前に詳細な実施計画書を作成し、監督職員に提出して承諾を得るものとする。

第8章 設 計

1. 一般事項

- (1) 受注者は、本章に示す設計条件等に基づき設計図書等について照査し、設備の製造設計を行うものとする。
- (2) 土地改良事業計画設計基準、関係する諸基準及び規格を遵守し、設計条件及び設置条件に対して十分な強度、性能及び機能を有するものとする。
- (3) 耐久性及び安全性並びに維持管理を考慮した構造とする。
- (4) 運転が確実に操作の容易なものとする。
- (5) 設計、製作、据付に当たって特許等を使用する場合はその詳細を明記するものとする。

2. 詳細設計の範囲

受注者は、設計図書に記載されている基本設計条件に基づき細部の設計を実施するものとし、詳細設計を行う項目及び範囲と設計変更する工事内容は次のとおりである。

詳細設計項目	詳細設計の範囲	設計変更する工事内容
現場据付時における確認結果による整備設計を行う。	開閉装置（開度計）	確認結果により部品等の交換があった場合の施工費

3. 設計諸元

本ゲート設備の設計諸元は、次のとおりである。

仕様項目	西浜武線 枝光制水門（施設管理名称：6号制水門）
形 式	転倒ゲート（起伏堰）
純 径 間	1 1. 5 0 m
堰 高	3. 5 0 m
門 数	1 門
水 密 方 式	前面三方ゴム水密
駆 動 方 式	油圧シリンダー両軸駆動方式（動力：エンジン）
許 容 応 力 等	鋼構造物計画技術指針（水門扉編）による。

4. 材料

- (1) 主要材料は、JIS 規格品、又は同等品以上とする。
- (2) 構造計算の結果、決定する使用材料は、製鉄所のミルシート又は引張試験成績書等を提出し、監督職員の承諾を受けるものとする。

材 料 名	規 格	適 用
開度計架台	SUS304	開度計架台（SUS304）
防護柵	SS400 等	防護柵（めっき）

第9章 構造及び製作

1. 一般事項

- (1) 本設備の製作に必要な機器及び材料は、共通仕様書（施）第2章「機器及び材料」及び第4章「水門設備」によるものとする。
- (2) 本設備の製作は、共通仕様書（施）第3章「共通施工」及び第4章「水門設備」によるものとする。
- (3) 本設備は、共通仕様書（施）第4章「水門設備」によるものとするが、受注者の新技術及び新製品等があれば提案を行うことが可能である。
- (4) 水門設備は運転開始から長期の運転に耐えうる設計を行うこと。

- (5) 外注品の塗装仕様については、メーカー標準塗装とし、塗装色は10YR3/0.5（柳川市）とする。

第10章 整備工事

1. 一般事項

- (1) 各施設において、整備対象外の部位が機能低下している場合は、監督職員へ報告するものとする。
対策が必要と判断される場合は、監督職員と協議するものとする。

2. 開閉装置整備

- (1) 開閉装置の機能保持のために、清掃、動作確認を実施するものとする。
部品等の交換が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 開度計設置、試運転調整に当たっては事前に油脂類を拭き取る等、慎重に作業を行い、水路等への環境汚染を引き起こさないよう留意しなければならない。
- (3) 次に示す工事資材は、使用前に下記の資料を監督職員に提出し承諾を得た後に使用するものとする。

工事資材	提出資料
開度計	カタログ、試験成績書等
照明設備	カタログ、試験成績書等

第11章 整備内容

更新・整備内容については次表のとおりとする。

なお、受注者は作業着手前に更新・整備方法及び具体的な工程計画について、監督職員に作業計画書を提出し、承諾を得るものとする。

また、受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 整備内容

(1) 転倒ゲート設備 開度計他（現場据付）

No.	作業項目	作業内容
1	開度計の取付	・開度計取付位置の確認と周囲の清掃を行う。 ・コンクリート製蓋にワイヤ用の穴加工を行う。 ・開度計（架台）を設置する。（アンカーボルト施工） ・油圧シリンダー先端部にワイヤロープを固定する。 ・転向シーブを中継し開度計と連結を行う。 ・取付方向を確認し固定する。 ・雨水等がピット内へ入らない様に周囲にコーキングを施す。
2	防護柵の取付	・据付位置を確認し、アンカー施工を行う。 ・アンカー施工が完了したら、防護柵等の取付を行う。
3	照明の取付	・既設盤より電源を確保し、取付箇所及び配線ルートを確認を行う。 ・夜間作業時の照明設備を既設盤の電柱へ取り付ける。

No.	作業項目	作業内容
		・照明設備の点灯確認を行い周囲の清掃を行う。

2. 機械設備

- (1) 設備の取り外しや据付に重機械を使用する場合は、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。
- (2) 開度計及び防護柵の据付にあたっては、損傷を与えないように、かつ機能を十分に発揮するように正確に据付なければならない。

第12章 据付

受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。

なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 一般事項

据付は、共通仕様書（施）第3章第7節から第13節によるものとし、特記及び追加事項は次によるものとする。

2. 機械設備

- (1) 設備の配置は、操作及び保守点検が容易なように配置するものとする。
- (2) 設備の据付に重機械を使用する場合は、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。
- (3) 設備の据付にあたっては、損傷を与えないように、かつ機能を十分に発揮するように正確に据付なければならない。

3. 据付材料

本工事で据付時に使用する主要材料は、共通仕様書（施）第2章「機器及び材料」によるものとし、特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(1) 見本又は資料の提出

下記に示す据付材料は、使用前に下記の資料を監督職員に提出するものとする。

据付材料名	提出資料
アンカーボルト	カタログ、試験成績書等
その他材料	カタログ又は試験成績書等

第13章 施工管理等

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書による。

2. 施工管理

施工管理は、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等施工管理基準」及び共通仕様書（施）による。

なお、これらに定められていない事項については、受注者の基準によるが、この場合はあらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「施設機械工事等施工管理基準 第１編 共通編 第２章 撮影記録による施工管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

１）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

１）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

２）本工事の工事写真の取扱いは、「施設機械工事等施工管理基準 第１編 共通編 第２章 撮影記録による施工管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） ６ 写真編集等」に示す写真編集」には該当しないものとする。

３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://depadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

4. 工事現場等における遠隔確認について

（１）本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者が動画撮影用カメラにより撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。

（２）遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する実施要領」によるものとする。

（３）農林水産省が推奨するWeb会議システムは、Microsoft Teamsである。

（４）通信環境が整わない現場や遠隔確認が非効率となる場合も想定されることから、受発注者の協議により遠隔確認の適用・不適用を決定するものとする。

第14章 条件変更の補足説明

本工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書と異なる場合、あるいは設計図書に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

１）設計諸元等の条件変更に係るもの

- 2) 関係機関との調整に係るもの
- 3) 不可抗力によるもの
- 4) 法・基準の改正に係るもの
- 5) その他本仕様書に定めないもの

第15章 その他

1. 電子納品

工事完成図書を共通仕様書（施）第1章 1-1-27 及び第1章 1-1-29 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R・DVD-R 又は BD-R） 正副2部

2. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている190日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確認していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の日から令和9年3月9日（工事完了期限日）まで

※工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

3. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

4. 工事付属品

本工事で製作据付した設備の維持管理及び運転操作に必要な書類等は、工事付属品として監督職員の指示する場所に備え付けなければならない。

第16章 定めなき事項

- (1) 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
- (2) この仕様書に定めない事項又はこの工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

分任支出負担行為担当官

〇〇 〇〇 様

住所

商号又は名称

氏名

印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

工事現場等における遠隔確認に関する実施要領

1 総則

1-1 目的

本実施要領は、国営土地改良事業等の工事現場等における監督職員等の施工段階確認、材料検査、立会等（以下「立会等」という。）について、受注者が動画撮影用カメラで撮影した映像と音声を Web 会議システムにより監督職員等に配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニターで工事現場等の確認を行うもの（以下「遠隔確認」という。）であり、この情報通信技術を活用して、受発注者の業務効率化を図ることにより、働き方改革の促進と生産性向上を実現することを目的とするものである。

1-2 対象工事

原則、全ての工事を対象とする。

ただし、通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になることが明確な場合は、この限りではない。

1-3 適用

本実施要領は、土木工事共通仕様書及び施設機械工事等共通仕様書で定義する立会等の遠隔確認に適用し、監督職員等が確認するのに十分な情報を得ることができる場合に通常の立会等に代えることができる。

なお、動画撮影用カメラの活用は、立会等だけではなく設計図書と施工現場条件の不一致の確認、工事事務時の早期報告及び受注者の創意工夫等の報告など受発注者双方が積極的にその機能を活用する行為を妨げるものではない。

2 機器構成と仕様

遠隔確認に使用する動画撮影用カメラは受注者が準備するものとし、Web 会議システムは農林水産省が推奨するシステム（以下「推奨システム」という。）を使用する。なお、受注者は動画撮影用カメラに推奨システムをインストールし運用するものとする。

ただし、動画撮影用カメラを発注者側で準備している場合や推奨システムが現場確認に適さない場合は、受発注者間の協議により使用する機器を定めるものとする。

3 遠隔確認の実施

3-1 施工計画書の提出

遠隔確認の実施に当たっては、受注者は次の事項を施工計画書に記載して監督職員の確認を受けなければならない。

（1）適用種別

本実施要領を適用する立会等の項目を記載する。

（2）機器仕様

本実施要領に基づき使用する動画撮影用カメラの機器と仕様を記載する。

本実施要領を適用する立会等の実施時期・場所等を記載する。

(3) 実施時期・場所等

本実施要領を適用する立会等の実施時期・場所等を記載する。

3-2 事前準備

受注者は遠隔確認に先立ち、監督職員に工種、確認内容、確認希望日時等を記入した立会願を提出しなければならない。

なお、立会等の時間は、発注者の勤務時間内とする。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合はこの限りではない。

3-3 遠隔確認の実施

(1) 資機材の確認

受注者は、事前に監督職員等と使用する動画撮影用カメラ等の通信状況について確認を行わなければならない。

(2) 確認箇所の把握

受注者は、監督職員等が遠隔確認箇所の位置を把握するために映像により確認箇所周辺の状況を伝えなければならない。

(3) 確認の実施

受注者は、「工事名」、「工種」、「確認内容」、「設計値」、「測定値」などの必要な情報について適宜電子黒板等を用いて表示する。

なお、受注者は必要な情報を冒頭で読み上げ、監督職員等から実施項目の確認を得ること。確認終了時には、確認箇所の内容を読み上げ、監督職員等による結果の確認を得ること。

(4) 結果の報告

受注者は、監督職員から遠隔確認による施工段階確認を受けた場合、施工段階確認簿をその都度作成して速やかに監督職員へ提出する。

4 遠隔確認の記録と保存

受注者は、遠隔確認の映像と音声を配信するのみであり、記録と保存を行う必要はない。

ただし、現場技術員が遠隔確認を行った結果は、使用するパソコンにて遠隔確認の映像（実施状況）を画面キャプチャ（パソコンの画面表示を静止画像として保存）等で記録し、情報共有システム（ASP）等を活用して監督職員に提出する。

5 留意事項

遠隔確認の活用にあたっては、以下に留意すること。

(1) 受注者は、被撮影者である当該工事現場の作業員に対して撮影の目的や用途等を説明して承諾を得ること。

(2) 長時間動画用撮影カメラで撮影する場合、作業員のプライバシーを侵害する音声情報が含まれる可能性があるため留意すること。

(3) 受注者は、施工現場外が可能な限り映り込まないように留意すること。

(4) 受注者は、原則映像を記録する必要はないが、公的でない建物の内部や人物が意図せず映り込んでしまった場合は、記録映像から人物等を特定できないように必要な措置を行うこと。

(5) 動画撮影用カメラの使用は意識が対象物に集中し、足下への注意が薄れたり、カメラの保持・操作のために両手が塞がることにより、転倒等の事故につながる場合がある。そのため撮影しながら移動する場合は進行方向の段差・障害物の有無を確認するなど、安全

対策に留意すること。

(6) 電波状況等により遠隔確認が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

(7) 本実施要領によりがたい場合は適宜受発注者間で協議すること。

6 工事現場における掲示の記載

受注者は、下記の記載例を基に作成した掲示板を工事現場に設置して周辺住民の理解に努めなければならない。

記 載 例
当現場は、遠隔確認活用実施工事であり、動画撮影用カメラによる撮影を行っています。
問合せ先：〇〇工事責任者 現場代理人氏名、連絡先

7 フォローアップ調査

本実施要領に基づき実施した工事の受発注者を対象として、課題抽出やより効率的な取組を行うためのフォローアップ調査の依頼があった場合は対応することとする。

8 積算

(1) 積算方法

遠隔確認に使用する機器等は原則リースとし、その費用は工事实施に必要な施工管理費用（技術管理費）として見積徴収して全て計上する。

計上に当たっては、現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とするため「一括計上価格」とする。

やむを得ず機器等の購入が必要な場合はその購入費に対して機器等の耐用年数に使用期間割合を乗じた金額を計上する。また、受注者が所有する機器等を使用する場合も同様とする。

なお、発注者が所有する機器等を使用する場合は受発注者間で費用を協議することとし、追加で必要となる費用を計上する。

(2) 機器等の耐用年数

代表的な機器等の耐用年数については表－１のとおりであるが、これによりがたい場合は受発注者間で協議して決定する。

表－１ 代表的な機器の耐用年数

機器等の名称	耐用年数
カメラ、ネットワークオペレーティングシステム、アプリケーションソフト	５年
ハブ、ルーター、リピーター、LAN ボード	10 年

※ 国税庁ホームページ公表資料から引用

令和 7 年度

筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（西浜武線）改修工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接製作費				
1. 鋼製付属設備製作工	防護柵			
(1) 鋼製付属設備製作工	防護柵			
鋼製付属設備工（製作費）		式	1	
鋼製付属設備工（塗装費）		式	1	
2. ワイヤスプリング式開度計他				
(1) ワイヤスプリング式開度計他	枝光制水門			
ワイヤスプリング式開度計		式	1	
LED照明設備		式	1	
直接工事費				
1. 輸送費				
(1) 輸送費				
輸送費	枝光制水門	式	1	
2. 水門設備現場整備工（制水門）	開度計			
(1) 西浜武線 枝光制水門				
開閉装置整備		式	1	
直接経費（据付）		式	1	

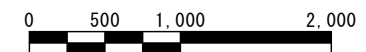
令和7年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業

排水路設備（西浜武線）改修工事

契約図面

[illegible]

— S=1:25000



＜凡 例＞	
●	施工対象範囲

＜施設管理名称＞
制水門：下段（ ）書き

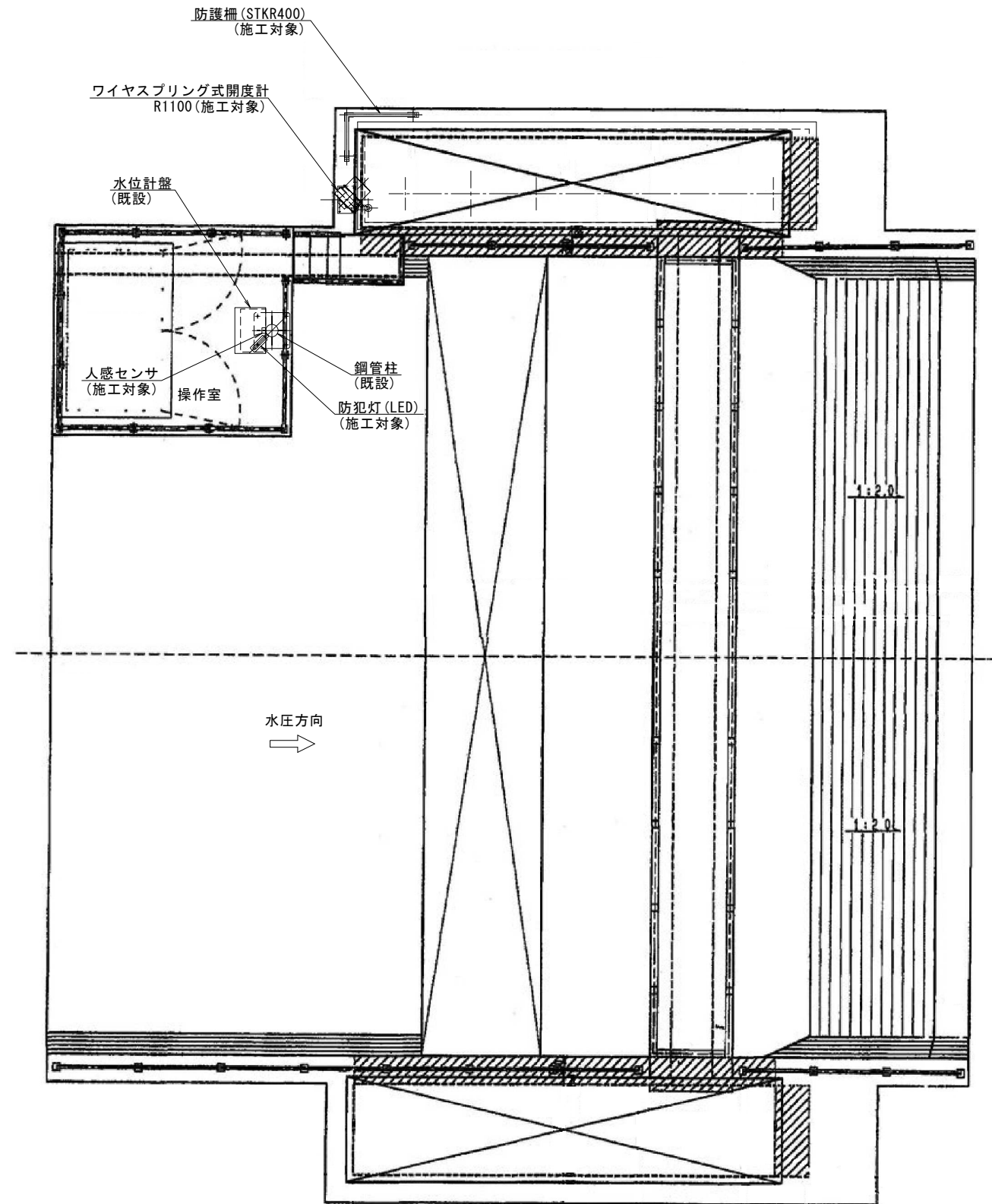
工 事 名	令和7年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武線）改修工事		
図 面 名	位 置 図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:25000	図面番号	1
会 社 名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

制水門整備一般図(タイプIV(1門))(1/3)

西浜武線 枝光制水門(施設管理名称: 6号制水門)

S=1:40

平面図



制水門改修内容(現場作業)

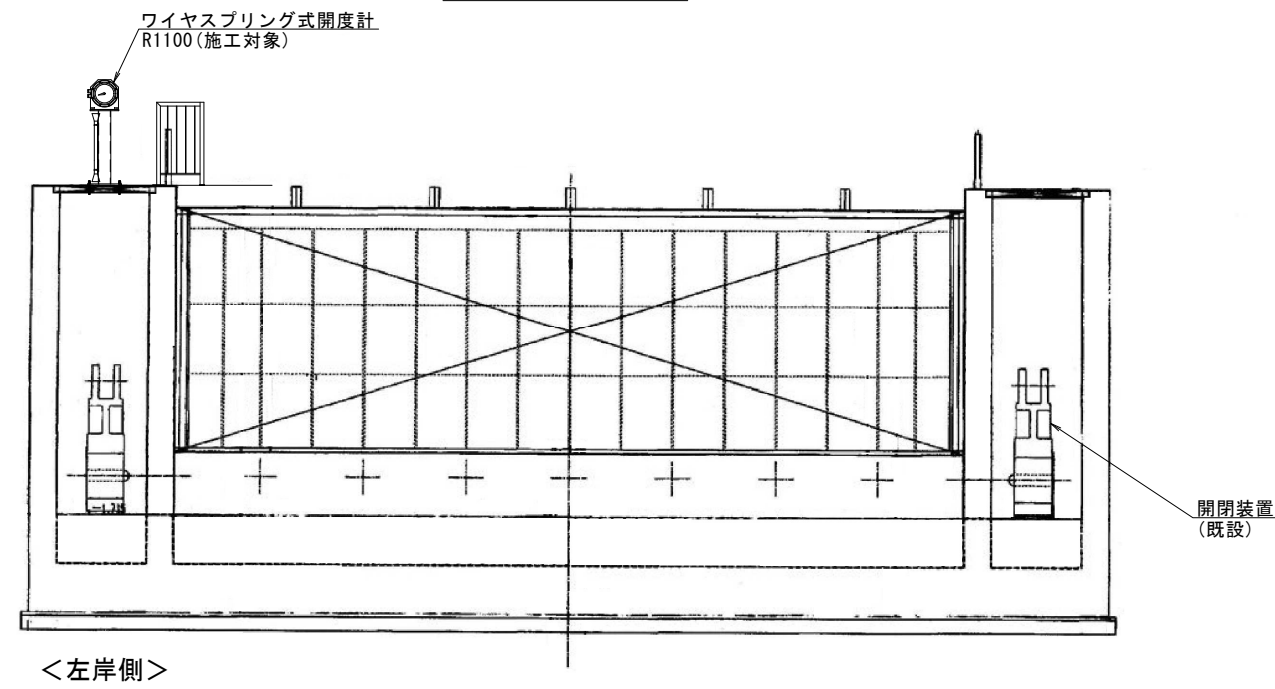
扉体	
開閉装置	・ 清掃、動作確認
開度計	・ 転倒ゲート開閉装置に新設
防護柵	・ 防護柵の新設
照明設備	・ 照明設備の新設

工 事 名	令和7年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事		
図 面 名	制水門整備一般図(タイプIV(1門))(1/3)		
作成年月日			
縮 尺	S=1:40	図面番号	2-1/3
会 社 名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

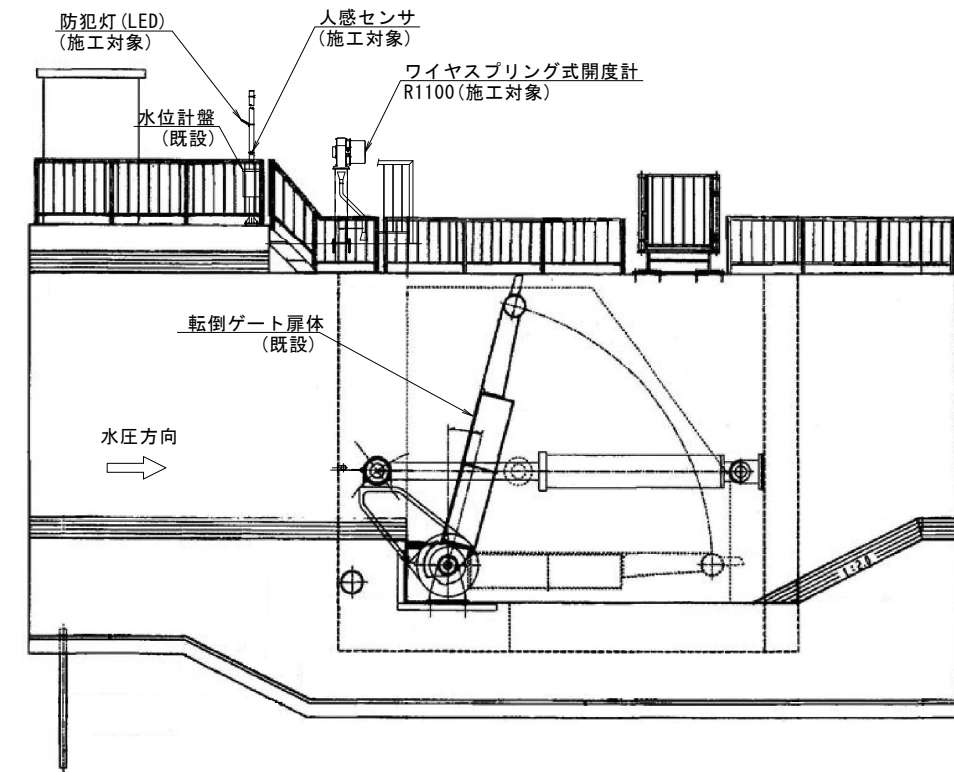
制水門整備一般図(タイプIV(1門))(2/3)
西浜武線 枝光制水門(施設管理名称:6号制水門)

S=1:50

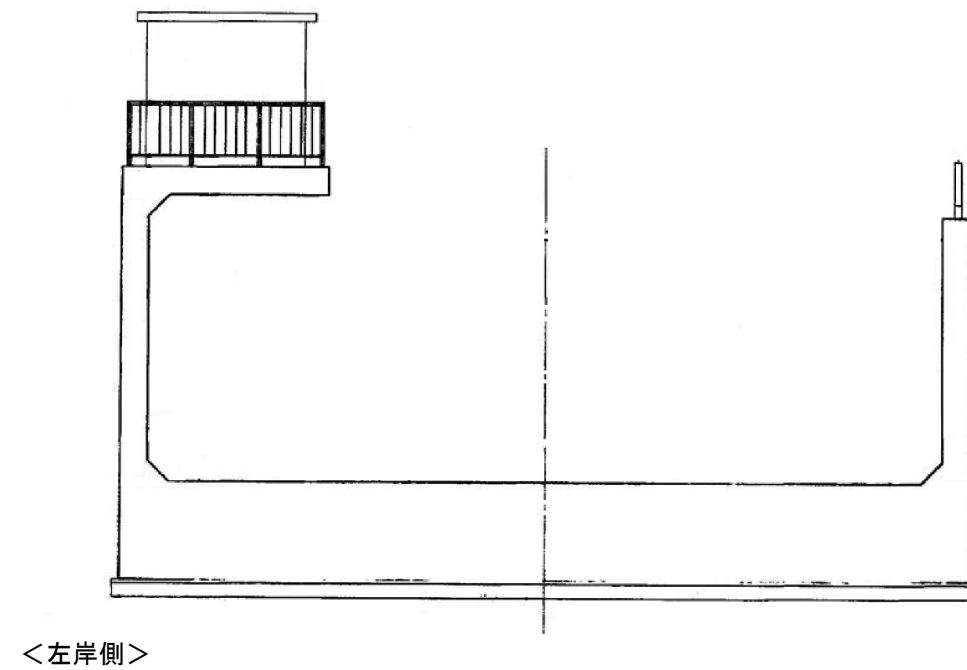
断面図(転倒堰部)



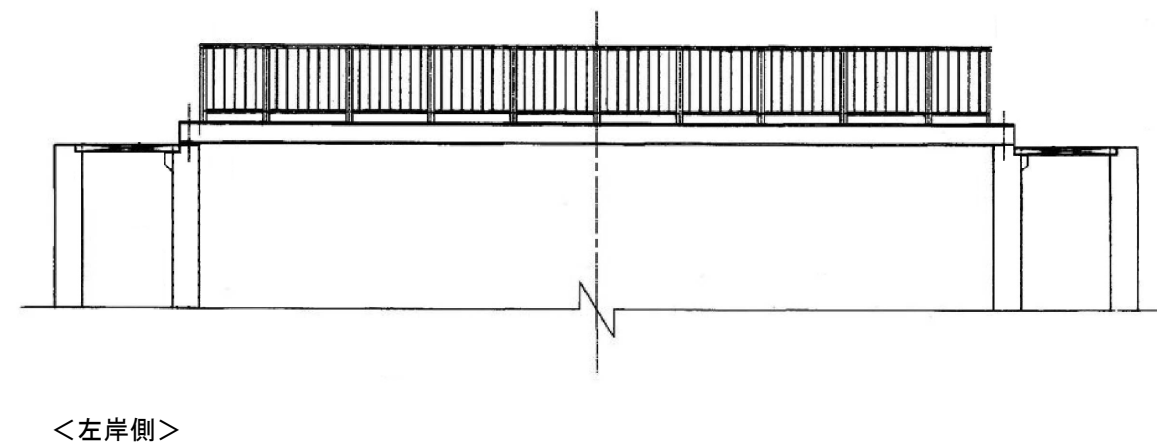
縦断面図(左岸部)



断面図(操作室部)
(施工対象外)



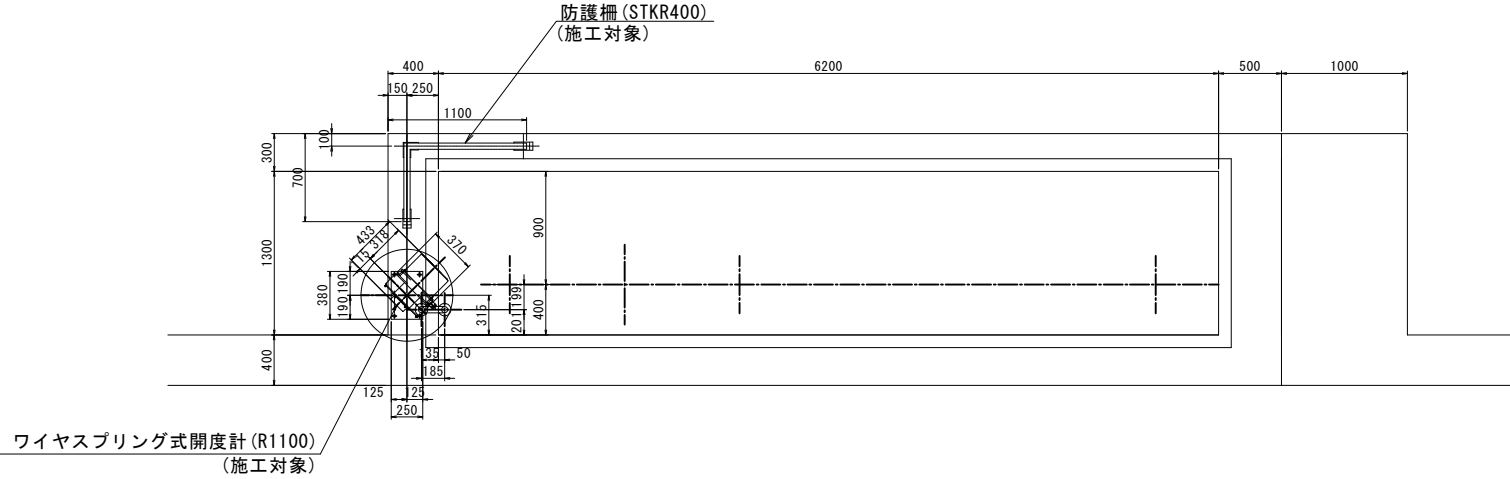
断面図(管理橋部)
(施工対象外)



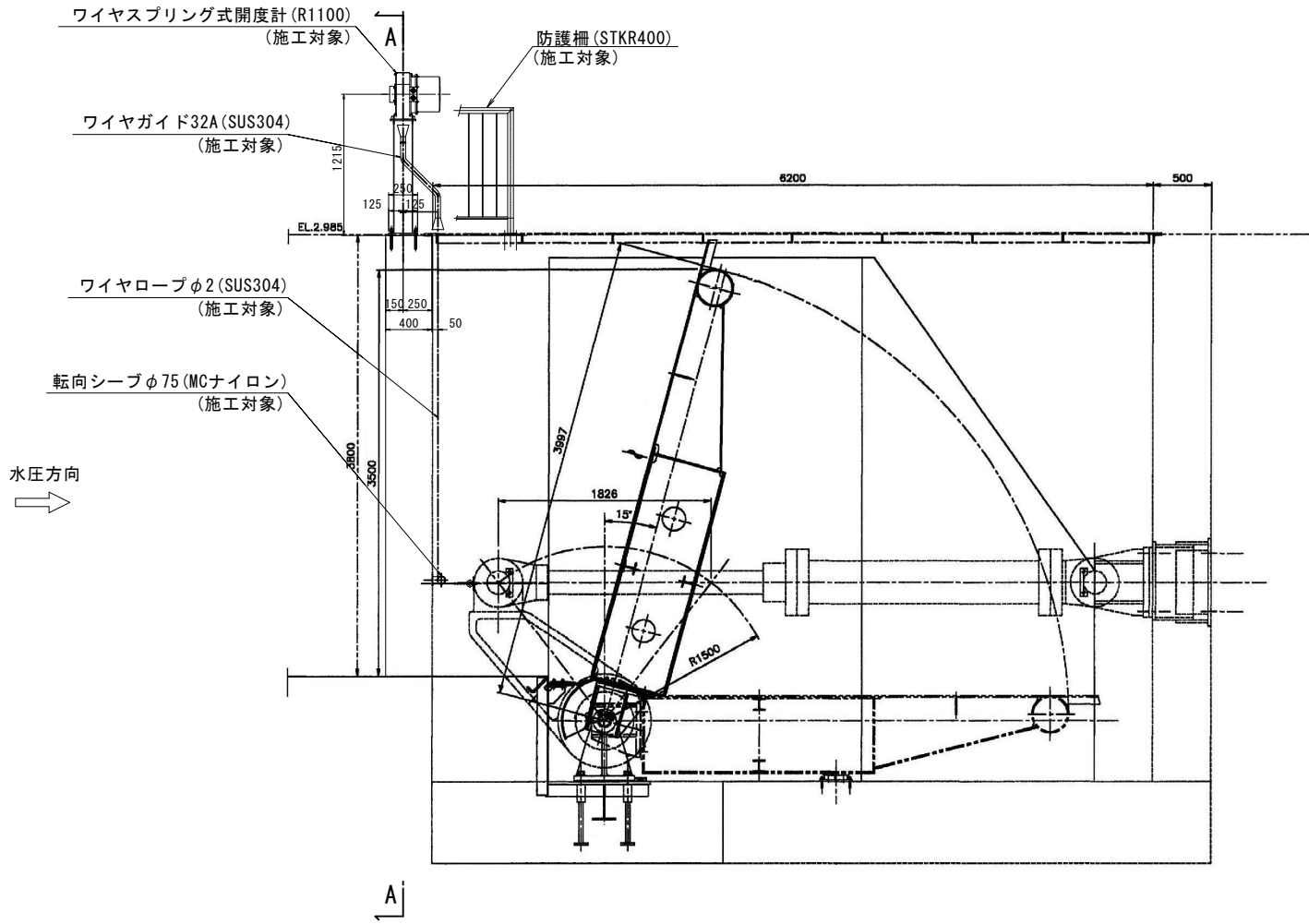
工事名	令和7年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事		
図面名	制水門整備一般図(タイプIV(1門))(2/3)		
作成年月日			
縮尺	S=1:50	図面番号	2-2/3
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

制水門整備一般図(タイプⅣ(1門))(3/3) S=1:30
 転倒ゲート開度計：西浜武線 枝光制水門(施設管理名称：6号制水門)

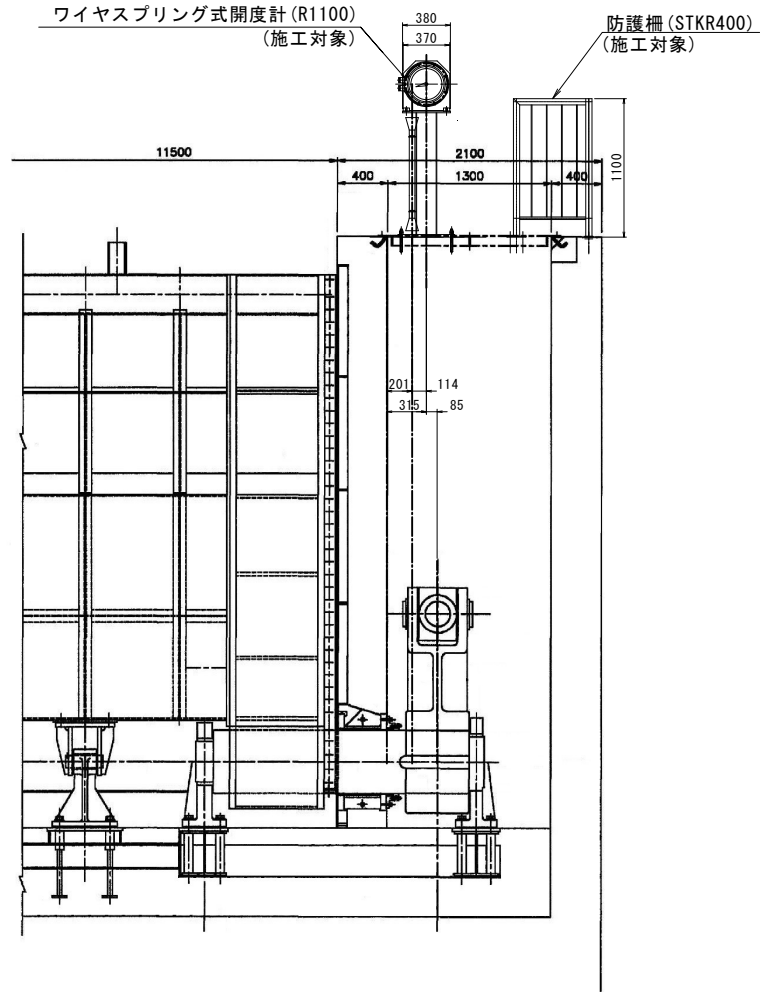
平面图



左岸側油圧機室区



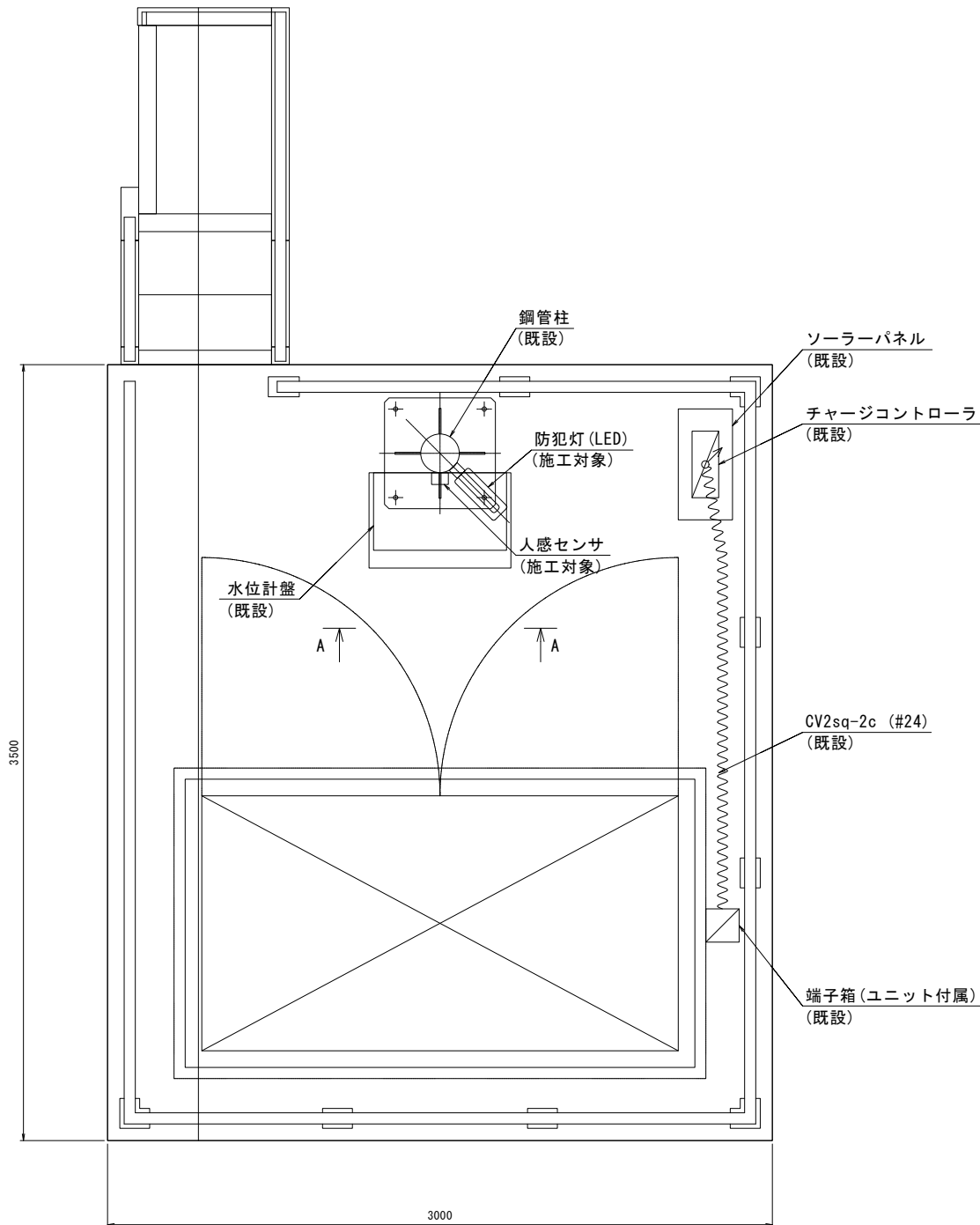
A-A矢視図



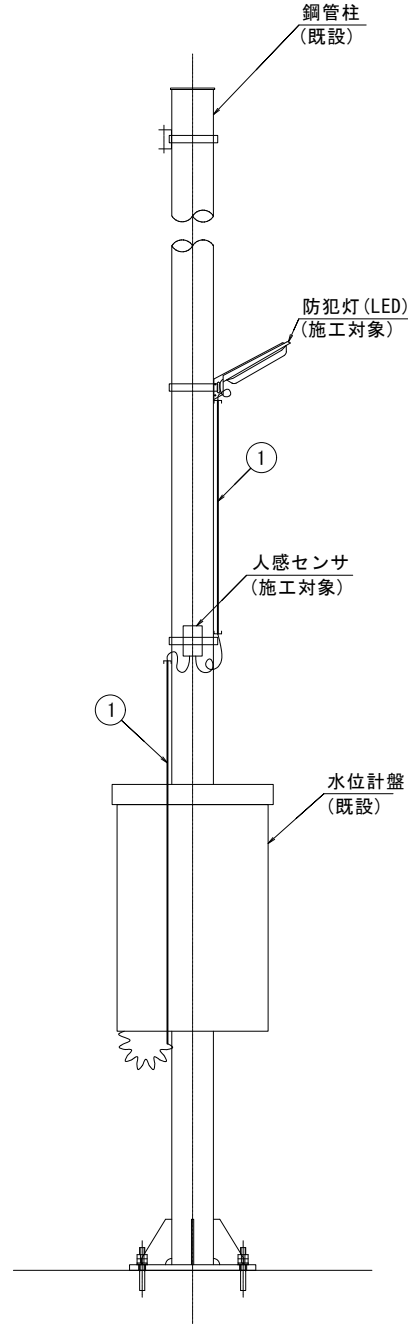
工 事 名	令和7年度 筑後川下流福岡県国営施設機能保全事業 排水路設備（西浜武橋）改修工事		
図 面 名	制水門整備一般図（タイプⅣ（1門））（3/3）		
作成年月日			
縮 尺	S=1:20	図面番号	2-3/3
会 社 名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

電路布設図
西浜武線 枝光制水門(施設管理名称：6号制水門)

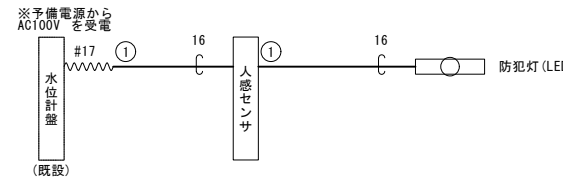
平面図
(S=1:15)



A-A
(S=NON)



電路系統図



配線・配管表

番号	ケーブル	用途	行き先
1	CV2sq-3c	電源	水位計盤 (既設) ~ 防犯灯 (LED)

図示記号表

記 号	名 称
——	露出配管
——	露出配線
~~~~	金属製可とう電線管
⤴	立上り

工 事 名	令和7年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(西浜武線)改修工事		
図 面 名	電路布設図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	3
会 社 名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		